

3 - 10 伊豆半島北部の地震活動

Seismic Activity in the Northern Part of Izu Peninsula

気象庁地震活動検測センター

SAMC, Japan Meteorological Agency

第1図、第2図は網代の北部を中心とした伊豆半島東部から神奈川県南西部の最近約2年半の地震活動を調査したものであるが、同地域は図のように比較的静かな状態が続いている。なお、同地域は地震活動の地域的特性としては、1974年の伊豆半島沖地震についての報告中の第2図でも示したように、本震の前に前震活動を伴ったり、群発したりする性質があり、このことは古い歴史的な地震についても同じような傾向がある。

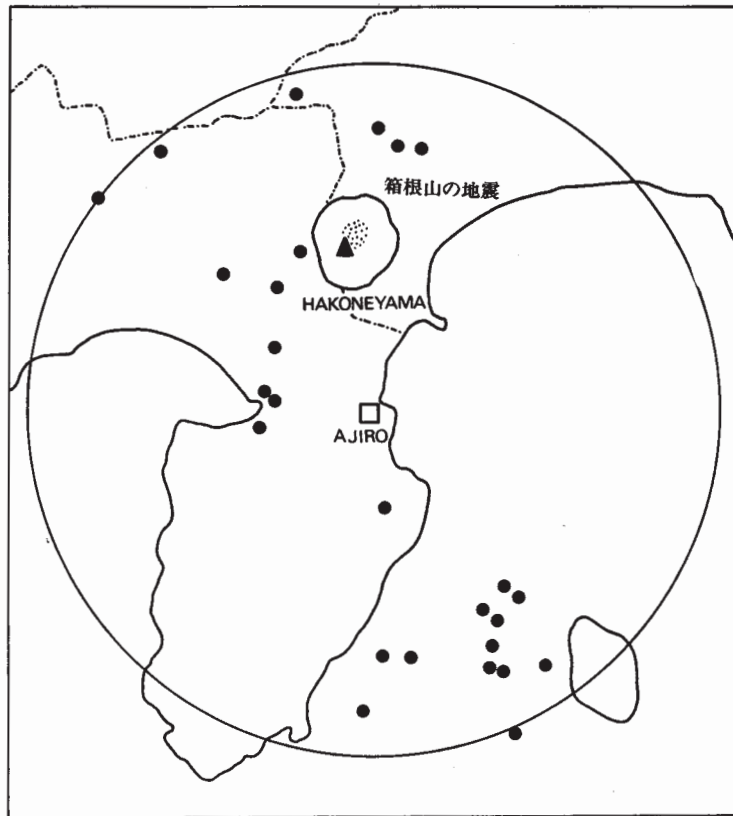
また、同地域を通過する地震波の地震波速度比 (V_P / V_S) を大島近海に発生した深さ0~30 kmの浅い地震を使って、網代と飯田の観測値から

$$V_P / V_S = k = \frac{\Delta t_s}{\Delta t_p} = \frac{S_{Ii} - S_{Aj}}{P_{Ii} - P_{Aj}}$$

の式で求めると第3図となる。

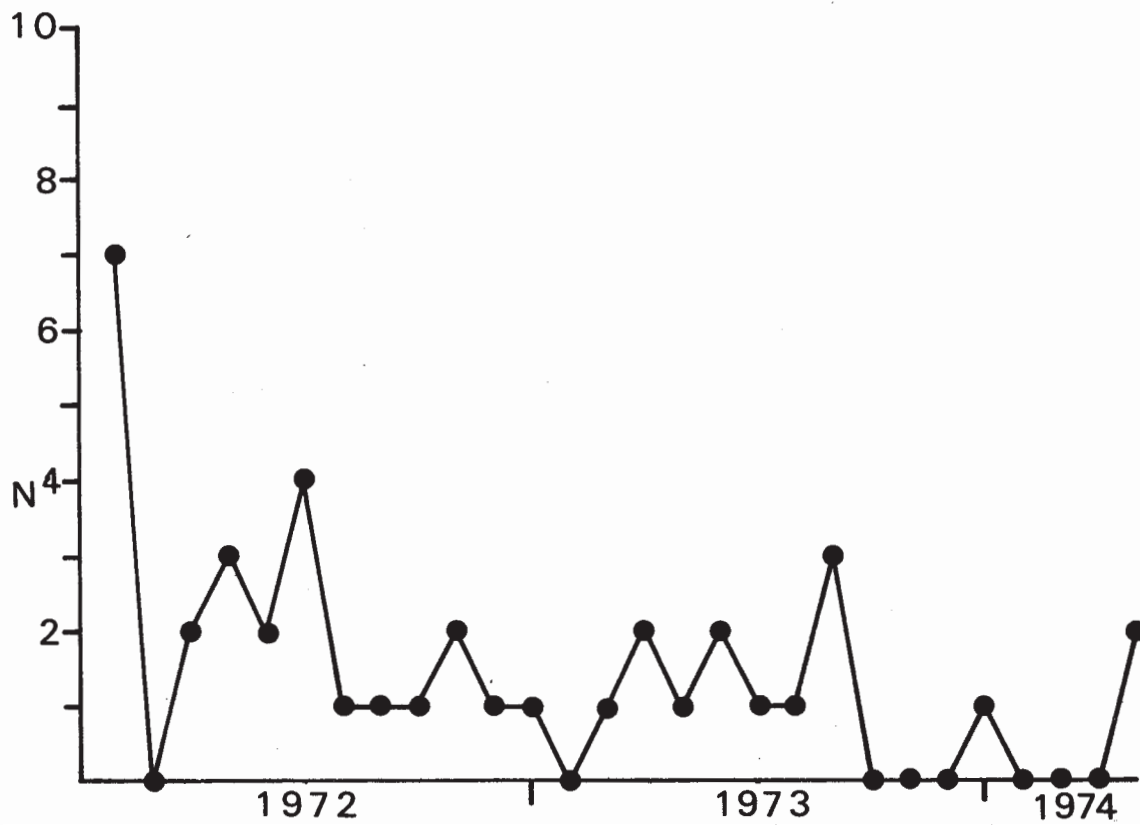
(但し、 P_{Ii} は飯田のP波の観測時刻、 P_{Aj} 網代の同じく観測時刻で、S波についても同様である)。

図から1966年から1971年の間には適当な地震がないため不明であるが、最近特にKの値が大きく変っているという結果はでていない。ただ、この地域の地震波速度比を求めるためには、飯田よりももっと網代に近い観測を使うことが必要であるが、従来の気象庁の観測網では精度などの点で適当な観測所はない。



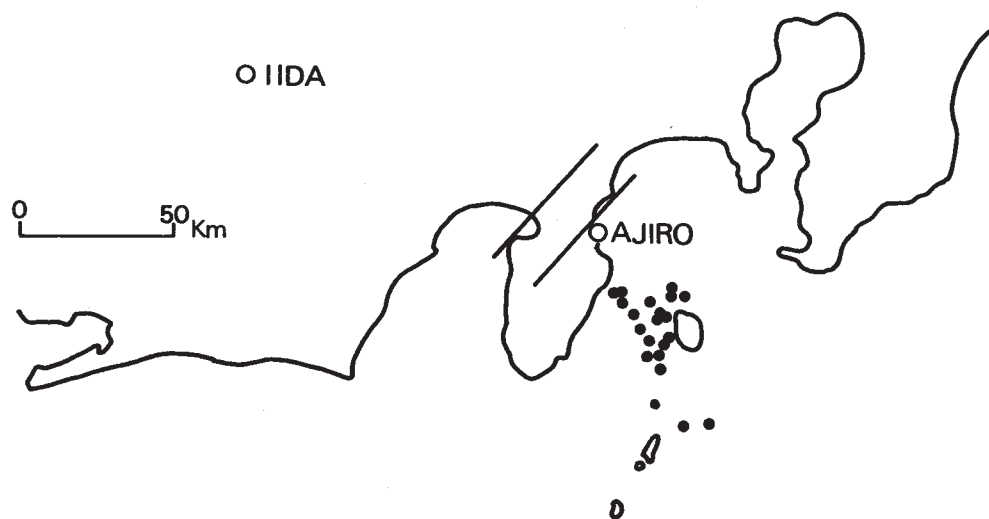
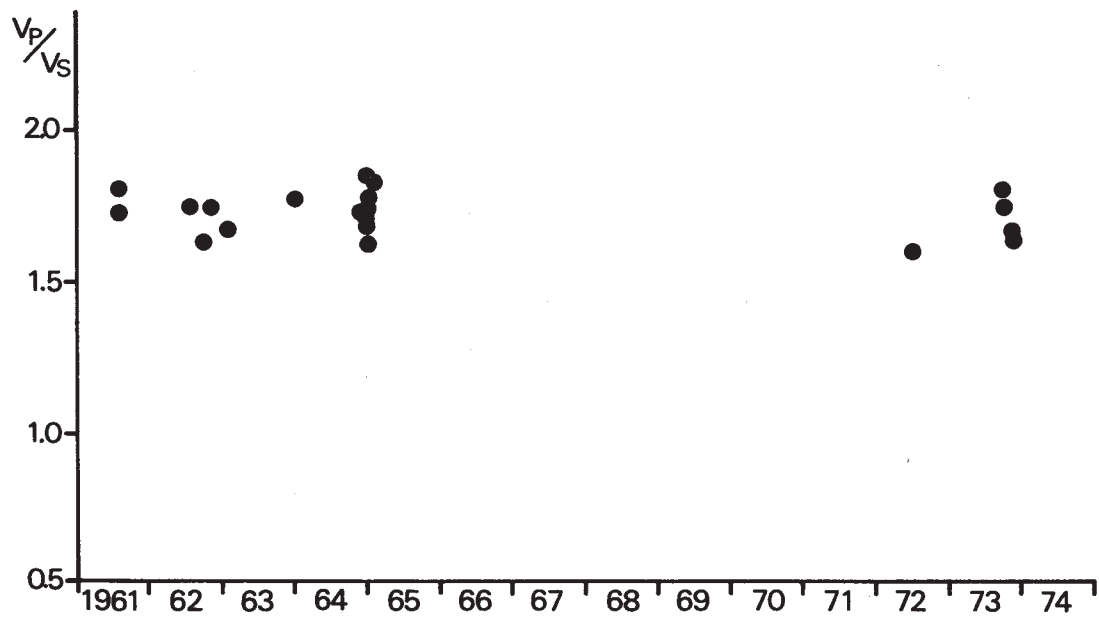
第1図 伊豆半島北部における最近の地震活動（1972年1月－1974年4月），暫定資料

Fig. 1 Recent seismic activity in the northern part of Izu Peninsula



第2図 網代で観測した地震回数の変動（ $S - P \leq 5 \text{ sec}$ ）

Fig. 2 Variation of number of earthquakes observed at Ajiro ($s - p \leq 5 \text{ sec}$)



第3図 静岡県北部における $\frac{\Delta t_s}{\Delta t_p}$ の変動

Fig. 3 Change in $\frac{\Delta t_s}{\Delta t_p}$ value in the northern part of Shizuoka Prefecture.